



2026年1月27日

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 枝廣 弘巳  
(コード番号 8129 東証プライム市場)  
問合せ先 常務執行役員 経営戦略本部長 河村 真  
(電話 03-6838-2803)

### サーブ・バイオファーマ株式会社との資本業務提携についてのお知らせ

東邦ホールディングス株式会社（本社：東京都、代表取締役 社長執行役員 CEO：枝廣 弘巳、以下「東邦ホールディングス」）は、このたび、サーブ・バイオファーマ株式会社（本社：鹿児島県、代表取締役社長：山田 昌樹、以下「サーブ・バイオファーマ」）と資本業務提携を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 資本業務提携の理由

東邦ホールディングスは、医療・健康・介護分野に携わる企業集団として、「全ては健康を願う人々のために」のグループ・スローガンの下、医薬品卸売、調剤薬局、医薬品製造販売、顧客支援システムの開発・提供等の事業を展開するとともに、地域医療連携や在宅・介護分野への取り組みを積極的に推進しております。

サーブ・バイオファーマは2022年8月に設立された鹿児島大学発の認定バイオベンチャーで、鹿児島大学の小賊健一郎教授（サーブ・バイオファーマ創業者・取締役会長兼最高科学責任者）が独自開発した腫瘍溶解性ウイルス Surv.m-CRA（サバイビン反応性・多因子増殖制御型アデノウイルス）シリーズの社会実装化に向けた研究開発を行っております。Surv.m-CRAは、がん細胞で特異的に活性化する独自の「サバイビンプロモーター」を搭載した腫瘍溶解性ウイルスです。正常細胞は傷害せず、がん細胞だけで増殖し、がん細胞を選択的に殺傷するため、高い治療効果と安全性を有し、さらに既存治療法が無効のがん幹細胞も治療できる画期的ながん治療薬（再生医療等製品）として期待しております。

東邦ホールディングスは、中期経営計画「次代を創る」の具体的施策の一つに「スペシャリティ製品フルラインサービス」を掲げ、今後の成長が期待される再生医療等製品をはじめとするスペシャリティ製品の取り扱いを通じ、国内の医薬品流通において必要不可欠とされるポジショニングを確立すべく取り組んでおります。今回、サーブ・バイオファーマが有する研究・開発機能と、当社グループの経営資源を組み合わせることで、営業力の一層の強化と新たな知見の獲得、企業価値の更なる向上を図ることができるものと判断し、同社に出資することといたしました。本出資を通じてサーブ・バイオファーマの研究開発を支援するとともに、同社製品の治験物流においても全面的に協力してまいります。当社グループは、再生医療等製品の知見を深め、安定的な流通体制を確立することで、難治性疾患に苦しむ患者様が安心して革新的な治療を受けられるよう尽力してまいります。

## 2. サーブ・バイオファーマ株式会社の概要

- (1) 商号 : サーブ・バイオファーマ株式会社
- (2) 所在地 : 〒890-8544 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1  
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科内
- (3) 代表者 : 代表取締役社長 山田 昌樹
- (4) 設立年 : 2022年8月22日
- (5) 事業内容 : 医薬品等の研究開発・販売等
- (6) 資本金 : 12億50万円 (資本準備金を含む)

## 3. 今後の見通し

本件にともなう業績への影響については、現時点では軽微ですが、中長期的には当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。今後、適時開示の必要性が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上